

被災地の復興を通じて、日本の再生を果たそう

－東日本大震災1周年にあたってのJR連合声明－

未曾有の大災害をもたらした東日本大震災発生から1年。大震災でお亡くなりになった方々の御霊に哀悼の意を表するとともに、組合員・家族はもとより、すべての被災された方々、そして今なお避難生活を強いられている方々に対して、心よりお見舞いを申し上げます。

被災地では、復旧・復興に向けた取り組みが進められていますが、原発事故の影響の長期化もあり、被災地の復興・再生の道のりは緒についたばかりです。

東日本大震災発生以降、JR連合は「東北地方太平洋沖地震緊急対応本部」を設置し、7万9千名組織の総力をあげて、被災された組合員・家族を支援すべく、救援物資の輸送を行うとともに、「緊急支援カンパ」を実施し、約54百万円を集約し、被災組合員への支援、被災地への義援金の拠出を行ってきました。さらには、各単組の協力の下、「連合被災地救援ボランティア」にも積極的に参加し、連合の一員として被災地支援を継続してきました。

一方、東日本大震災では、鉄道も甚大な被害が生じました。私たちは、鉄道員魂を発揮し、わが国の基幹インフラである鉄道輸送網の早期復旧に取り組み、一部津波被災路線を除き、運転再開を図ってきたところです。また、JR連合は、政府・与党に対して、甚大な被害を受けたJR東日本、JR貨物および臨海鉄道などへの公的助成を強く求め、昨年第三補正予算にその支援策が盛り込まれてきたところです。

私たちは、未曾有のこの難局に対し、労働組合の助け合い、支え合いの精神を最大限に発揮しなければなりません。

「がんばろう、東北！」「がんばろう、日本！」。

大震災の教訓を胸に刻み、災害に強い、安全・安心な鉄道を作ることを通じて、被災地の復興、日本の再生を果たす決意をあらためて表明します。

2012年3月11日

日本鉄道労働組合連合会（JR連合）